

横浜市感染症発生動向調査事業概要

平成 17 年(2005 年)

平成 19 年 3 月

横浜市健康福祉局健康安全部感染症課
横浜市健康福祉局衛生研究所

はじめに

横浜市では、昭和53年(1978年)に、本市独自の感染症サーベイランス事業を開始しました。その後、昭和56年(1981年)に全国レベルで国の事業として18疾病を対象に開始され、昭和62年(1987年)からはコンピューターオンラインシステムが導入され、27疾病に拡大された「感染症サーベイランス事業」が稼動、平成10年(1998年)には、「感染症発生動向調査事業」と改名されました。

平成11年(1999年)、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(感染症法)の施行に伴い、感染症発生動向調査が法令に位置付けられました。また、過去の反省をふまえて、感染症法には、少なくとも5年ごとに内容・類型の検討をすることが明記されました。平成15(2003年)年の改正に続き、さらに大きく改正された法律が、平成19年度から施行されます。バイオテロ防止の観点から、病原体等の所持等に関する規制・管理の徹底、感染症類型の見直し、結核予防法の感染症法への統合が、今回の主要改正点です。

感染症発生動向調査事業は、一類から五類に定められた全疾患について、発生状況に関する情報を迅速に収集し、解析・評価を加え、その結果を速やかに関係者や市民に還元することによって、感染症対策に役立てることを目的としています。横浜市では、月1回感染症発生動向調査委員会(感染症委員会)を開催し、収集された感染症情報の分析とコメントの提供を行っています。

昨今の感染症対策を取り巻く環境の急速な変化に対応できるよう、平成18年4月から、新しい感染症発生動向調査システム(NESID)が運用されるようになりました。また、同年6月に指定感染症としての政令指定を受けたインフルエンザH5N1の、積極的疫学調査結果のオンラインシステムによる報告が、感染症発生動向調査事業実施要綱の中に、追加されました。

最近では、危機管理としての感染症対策の確立が強く求められており、この点に関しては今後とも検討を継続することになります。

この度、平成17年分の情報をまとめ、『横浜市感染症発生動向調査事業概要』を作成しました。感染症対策の参考資料として御活用いただければ幸甚に存じます。

最後に、本事業の推進にあたりご協力いただいた横浜市医師会、定点医療機関をはじめ各機関の皆様、また本事業概要の執筆にご尽力いただいた感染症委員会の先生方、横浜市健康福祉局職員の方々に厚く御礼申し上げますとともに、今後とも一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年3月

横浜市感染症発生動向調査委員会

委員長 北村 勝彦

目次

はじめに

第1章 横浜市感染症発生動向調査事業の概要

1. 横浜市感染症発生動向調査事業	1
2. 感染症発生動向調査における情報の流れ(図)	2
3. 区別定点医療機関(表)	3
4. 感染症の種類	4
5. 感染症法で規定されている感染症	6

第2章 感染症発生動向調査委員会委員名簿

7

第3章 感染症発生動向調査事業定点一覧

9

第4章 一・二・三・四類感染症及び全数把握対象の五類感染症報告状況

15

第5章 五類感染症(定点把握対象)報告状況

1. インフルエンザ定点把握対象疾患	
(1) インフルエンザ	21
2. 小児科定点把握対象疾患	
(2) RSウイルス感染症	22
(3) 咽頭結膜熱	23
(4) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24
(5) 感染性胃腸炎	25
(6) 水痘	26
(7) 手足口病	27
(8) 伝染性紅斑	28
(9) 突発性発しん	29
(10) 百日咳	30
(11) 風しん	31
(12) ヘルパンギーナ	32
(13) 麻しん	33
(14) 流行性耳下腺炎	34
3. 眼科定点把握対象疾患	
(15) 急性出血性結膜炎	35
(16) 流行性角結膜炎	36
4. 性感染症定点把握対象疾患	
(17) 性器クラミジア感染症	37
(18) 性器ヘルペスウイルス感染症	37
(19) 尖圭コンジローマ	37
(20) 淋菌感染症	37

5. 基幹定点把握対象疾患	
(21) 細菌性髄膜炎	40
(22) 無菌性髄膜炎	40
(23) マイコプラズマ肺炎	40
(24) クラミジア肺炎	41
(25) 成人麻しん	41
(26) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	41
(27) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	41
(28) 薬剤耐性緑膿菌感染症	41
6. 定点医療機関からの報告状況	42
7. 感染症発生動向調査委員会報告	43
8. 関連記事	
予防接種について	49
記者発表資料	50
 第6章 病原体定点調査成績	
1. ウイルス検査	51
2. 細菌検査	55
 第7章 資料	
1. 五類感染症(定点把握対象)患者報告数 週報	57
2. 五類感染症(定点把握対象)患者報告数 月報	65
3. 横浜市感染症発生動向調査事業実施要項	68
4. 横浜市感染症発生動向調査委員会設置運営要項	75